

「アルザスの真珠」リクヴィール

↑リクヴィール 人口1,200人程度の小さな村は、高品質のワインと木組みのカラフルな家々を誇り、「アルザスの真珠」と謳われます。家々の多くは15～18世紀に建てられたもので、花咲き誇るバルコニー、美しく装飾された窓組みなど、アルザス特有の建築様式を備えています。秋の黄金色に染まったブドウ畑の中に建つリクヴィールの町並みは、まさに絵葉書の中の世界です。



### アルザス・ワイン街道の小さな村々

ドイツと国境を接し、実際過去ドイツ領であったこともあるアルザス地方。文化や風景にもドイツの影響が色濃く残っています。また、ボルドー、ブルゴーニュと並ぶフランス有数のブドウの産地で、「アルザス・ワイン街道」沿いにはワイン造りで有名な村が並びます。どの村もアルザス伝統の絵本のように美しい家々が並び、ワインが飲めない人でもその可愛らしい町並みには心奪われることでしょう。



↑ストラスブール ドイツの香りを色濃く残すアルザス地方の中心都市。EUの欧州議会の本会議場も置かれる国際都市でもあります。



プティット・ヴニーズ地区

↑コルマル まるでお伽話に出てくるような木組みの家が、石畳の小道に沿って建ち並ぶコルマル。ほとんど戦禍にあっていないため、中世の姿をそのまま残します。プティット・ヴニーズ（小ベニス）地区は、カラフルな建物と綺麗な花に彩られた運河沿いの散歩道として人気です。

～ブドウ畑が黄金色に色付く季節～

# アルザス、ブルゴーニュとリヨン 10日間

旅行期間：10月17日（木）～10月26日（土） 旅行代金：798,000円

燃油サーチャージなし

### ブルゴーニュ・黄金の丘とロマネスク芸術

フランス中央東部に位置するブルゴーニュ地方。かつてはブルゴーニュ公国として繁栄し、一面に広がるブドウ畑や酪農風景など豊かな歴史と土壌に恵まれた地域です。ディジョンからボーヌ、さらにその少し南まで伸びる黄金の丘（コート・ドール）は、ロマネ・コンティなど上質のワインとなるブドウの産地として知られます。また、ヴェズレー、オートンなどの珠玉のロマネスク芸術が残る町、スミュール・アン・オーソワなど絵になる美しい町を訪れます。



サント・マドレーヌ・バジリカ聖堂



サン・ラザール大聖堂の柱頭彫刻



オテル・デュ



黄金の丘

↑ボーヌ 黄金の丘（コート・ドール）の真ん中に位置し、ブルゴーニュ・ワインの首都と呼ばれます。オテル・デュは15世紀建造の施療院で、中世ブルゴーニュを象徴する建物。その鮮やかで豪華なモザイク模様の屋根はブルゴーニュ大公時代の栄華を偲ばせます。



↑スミュール・アン・オーソワ

14世紀建造の要塞は独特の形状の塔が残り、中世の雰囲気の色濃く醸し出します。



↑ロンシャン礼拝堂

「近代建築の父」ル・コルビュジエ設計の礼拝堂も訪問。曲線が特徴的なコルビュエ晩年の傑作と言われています。

↑ヴェズレー マグダラのマリアの聖遺物が奇跡を起こしたという伝説の残るサント・マドレーヌ・バジリカ聖堂。ブルゴーニュ・ロマネスクの傑作と讃えられます。

↑オートン 12世紀建造のサン・ラザール大聖堂のタンパン（正面入口上部の半円部分）や柱頭彫刻はロマネスク様式の傑作として知られます。

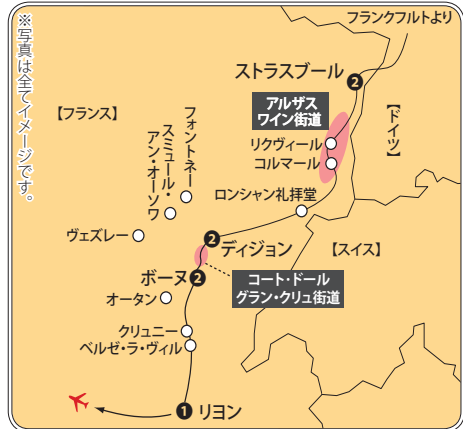
# 黄葉の季節に訪れる アルザス、ブルゴーニュとリヨン 10日間

黄葉の季節限定・特別企画	
旅行期間	10月17日(木)～10月26日(土)
旅行代金	798,000円
二人部屋の一人利用追加代金	99,000円 (ツインルームまたはダブルルームを確約)

- ◎利用予定航空会社：カタール航空。
- ◎添乗員：成田または羽田空港より全行程同行。
- ◎食事：朝食7回・昼食6回・夕食7回(機内食除く)
- ◎ホテル：スタンダード～ファーストクラスの厳選ホテル。詳しくはお問い合わせ下さい。
- ◎最少催行人員：10名(最大20名)
- ◎海外空港諸税：旅行代金に含まれます。
- ◎旅券の残存有効期間：帰国時3カ月以上
- ◆旅行代金以外に下記費用を別途申し受けます◆
- ◎成田空港使用料・保安サービス料：3,010円
- ◎国際観光旅客税：1,000円
- ◎燃油サーチャージ：なし(2024年3月現在)

## ◆コースのポイント◆

- ◇アルザス地方のストラスブールに2連泊。白壁と黒い木組みの家々が建ち並ぶ街を散策。小さな村オベルネ、リクヴィールやコルマルも訪問。
- ◇近代建築の巨匠ル・コルビュジエ設計のロンシャン礼拝堂も訪れます。
- ◇ヴェズレーのサント・マドレーヌ聖堂やオートタンのサン・ラザール聖堂などロマネスク建築の傑作も訪れます。
- ◇アルザス、ブルゴーニュ地方は、フランスでも有数の美食の地域。郷土料理をご賞味下さい。



**ご旅行条件(要約)** この書面は旅行業法第12条の4に定める取引条件説明書面および同法第12条の5に定める契約書面の一部となります。別途交付する旅行条件書(全文)をお受け取りの上、必ずご確認の上でお申し込み下さい。

●この旅行は、株式会社旅のデザインルームが企画・実施する旅行であり、お客様は当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。旅行契約の内容・条件は別途お渡しする旅行取引条件及び旅行条件(全文)、ご出発前にお渡しする最終日程表(確定書面)によります。

●旅行代金に含まれるもの：旅行日程に明示した運輸機関の運賃、食料料金、観光料金(バス料金・ガイド料金・入場料)、宿泊料金(二室を基準)及び税・サービス料、海外空港諸税、スーツケース一個の運搬料金、団体行動中のチップ、添乗員付コースはその同行諸費用。以上の費用は、お客様の都合により、一部利用されなくても原則として払い戻しはいたしません。

●旅行代金に含まれないもの：上記の他は旅行代金に含まれません。その一部を例示します。超過手荷物料金、一人部屋利用の場合の追加料金、希望者のみ参加されるオプションツアーの料金、渡航手続関係諸費用(旅券印紙代、手続代料金など)、日本国内の空港施設使用料・保安サービス料、国際観光旅客税、燃油サーチャージ、国内におけるご自宅からツアー集合及び解散空港間の交通費・宿泊費、クリーニング代、電報電話料金、ホテルのボーイやメイドへのチップ、日程明示外及び別途追加の飲食費、他一切の個人的性質の諸費用。

都市名	スケジュール
1 東京	■夜、成田または羽田空港より、空路、ドーハ乗り継ぎ、フランクフルトへ。 (機中泊) 日 日 日
2 フランクフルト ストラスブール	■午後、フランクフルト着。 ■着後、アルザス地方の中心ストラスブールへ向かいます。 (ストラスブール/旧市街徒歩圏のホテル泊) 日 日 日
3 ストラスブール滞在 (オベルネ)	■午前、ストラスブール市内観光。赤色砂岩で造られたノートルダム大聖堂◎、白壁に黒い木骨組みの家々が並ぶプチット・フランス地区○など。 ★昼食は、アルザスの名物料理シュークルトをどうぞ。 ■午後、木組みの美しい家々が残るオベルネの観光。マルシェ広場○、サン・ピエール・エ・サン・ポール教会○など。観光後、ストラスブールに戻ります。 (ストラスブール/旧市街徒歩圏のホテル泊) 日 日 日
4 ストラスブール (リクヴィール) (コルマル) (ロンシャン礼拝堂) ディジョン	■午前、「アルザスの真珠」と呼ばれるほど美しい中世の小村リクヴィール○に立ち寄った後、花を飾ったバルコニーや出窓など、アルザス風の美しい街並みが見られるコルマルの市内観光。「イーゼンハイムの祭壇画」が展示されるウンターリンデン美術館◎、運河沿いの古い家並み「プチット・ヴニーズ地区」○など。 ★昼食は、コンテ・チーズを使った料理をどうぞ。 ■観光後、ロンシャンの建築家ル・コルビュジエの最高傑作と言われるノートルダム・デュ・オー礼拝堂(ロンシャン礼拝堂)◎(※)に立ち寄り、ブルゴーニュ公国の首都として栄えたディジョンへ。 (ディジョン泊) 日 日 日
5 ディジョン滞在 (ヌムル・アン・ノワ) (フォントネー)	■午前、ディジョンの観光へ。ブルゴーニュ大公宮殿○、ノートルダム教会◎、古い家並みが残る旧市街の散策などにご案内します。 ★昼食は、エスカルゴをどうぞ。 ■午後、川のほとりの絵のように美しい町スミュール・アン・オーソワ○、人里離れた森の中に佇むストー派のフォントネー修道院◎(世界遺産)を訪れます。観光後、ディジョンに戻ります。 (ディジョン泊) 日 日 日
6 ディジョン (コート・ドール) (グラン・クリュ) ボーヌ	■午前、ブルゴーニュの古都ボーヌへ。途中、なだらかなブドウ畑が広がる丘陵地帯コート・ドール(黄金の丘)、グラン・クリュ街道の風景をお楽しみ下さい。 ロマネ・コンティの畑○(写真ストップ)にも立ち寄ります。 ★昼食は、ブルゴーニュ名物ブフ・ブルギニオン(牛肉の赤ワイン煮込み)をどうぞ。 ■午後、ボーヌの観光へ。15世紀当時の病棟がそのまま残るオテル・デュー◎、ワイン市場◎(試飲も)など。 (ボーヌ泊) 日 日 日
7 ボーヌ滞在 (ヴェズレー) (オートタン)	■午前、サンティアゴ巡礼路の起点のひとつヴェズレーでは、ロマネスク建築の傑作サント・マドレーヌ聖堂◎(世界遺産)をご覧ください。 ■午後、ローマ時代からの歴史を持つ町オートタンへ。ロマネスク芸術の傑作サン・ラザール大聖堂◎、サンタンドレ門○、ヤヌス神殿○などにご案内します。 (ボーヌ泊) 日 日 日
8 ボーヌ (クリュニー) (バルゼ・ラ・ヴィル) リヨン	■午前、ブルゴーニュ南部の小さな町へ。クリュニーを訪れ、かつてはヨーロッパ最大の修道院であったクリュニー修道院◎を見学。また、「花の村」として有名なバルゼ・ラ・ヴィル○を訪れます。観光後、美食の町リヨンへ。 ★昼食は、リヨン風サラダと伝統料理クネル(川カマスのつみれ)をどうぞ。 ■午後、リヨン市内観光。市街を眺望する丘に建つノートルダム・ド・フルヴィエール聖堂◎、世界遺産の旧市街○、泉と彫刻が美しいベルクール広場○など。 (リヨン泊) 日 日 日
9 リヨン	■午前、自由行動。 ■午後、空路、ドーハ乗り継ぎ、帰国の途へ。 (機中泊) 日 日 日
10 東京	■夜～深夜、成田または羽田空港着。通関後、解散。

※第4日目、ノートルダム・デュ・オー礼拝堂(ロンシャン礼拝堂)は、一部修復工事が行われている場合もございます。  
※教会、修道院などは、突然のミサや巡礼の時期、その他の理由で入場出来ない場合もございます。その場合、代替観光にご案内します。  
※羽田空港発着となる場合もございます。羽田発となった場合、空港使用料・保安サービス料は3,050円となります。

旅行解除期日	旅行代金	取消料(お一人)
ピーク時の旅行(41日前までは不要)		旅行代金の10%
●40日前から31日前までの取消し	30万円以上	50,000円
	15万円以上	30,000円
	30万円未満	20,000円
	15万円未満	20,000円
以下の全ての旅行に適用		
●20日前から3日前までの取消し		旅行代金の20%
●前々日から当日		旅行代金の50%
●無連絡不参加及び旅行開始後		旅行代金の100%

●お一人に参加され相部屋を希望し、お相手の方が見つからなかった場合は、一人部屋利用追加代金の半額にて、お一人部屋をご利用いただけます。但し、ご出発日の40日前までにお申込金のお手続きを完了されたお客様に限ります。尚、相部屋の方は、禁煙・喫煙、同年代などのご希望には添えません。また、お申込後、「相部屋→一人部屋」へ希望を変更することは原則不可となります。

●日程中のマークの見方  
☑:朝食、☑:昼食、☑:夕食、☑:機内食、☑:食事なし  
◎:入場観光、○:下車観光、△:車窓観光

●海外渡航関連情報について  
訪問国によっては、外務省より「海外危険情報」など、渡航に関する情報が出されています。それら情報に関しては以下でご確認下さい。  
・外務省海外安全ホームページ <http://www.pubanzen.mofa.go.jp/>  
・厚生労働省海外衛生関連情報 <http://www.forth.go.jp/>

●旅行条件・旅行代金の基準  
この旅行条件は2024年3月25日を基準としております。また旅行代金は2024年3月25日現在有効な航空運賃・適用規則に基づいて算出しています。

●旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引の責任者です。担当者からの説明にご不明な点がございましたら、遠慮なく下記、旅行業務取扱管理者までご質問下さい。